

## たまり場ぱれっと

6月開放日  
『室内スポーツを楽しもう』  
モルック&ポッチャ

6月18日(日)に地域交流センター恵比寿にて6月の開放日を実施しました。今回は室内にてモルックとポッチャの体験会、チーム対戦ゲームを行ない白熱した開催となりました。モルックは日本ユニバーサルモルック協会から講師の方にお越しいただき、ルールや投げ方のコツなどを教わりながら楽しく行なうことができました。ご厚意により、モルックセット1式を無期限にお借りする運びになりましたので、今回体験できなかった方ももう一度やりたい方はぜひ一緒にやりましょう！ポッチャは渋谷区からお借りして、経験のある参加者も多くいたため面白いゲームが展開されていました。講師の山口さんをはじめ、協力して下さった方々ありがとうございました。(たけい)

## おかし屋ぱれっと

## ～カフェ再開しました！～

コロナにより長らく休止していましたが、6月中旬からおかし屋ぱれっとのカフェを再開しました！再開するにあたり、東京町田にある焙煎所「CONZEN COFFEE」の小井土さんのご協力の元、おかし屋ぱれっとのクッキーやケーキに合うようエルサルバドル産のコーヒー豆を中深煎りに焙煎していただきました。コーヒーが苦手な人でも楽しめる、まるやかでとても美味しい味です。最近、より入りやすい様にお店のドアを開け放すようにしており、以前よりもお客様が多く見えています。これからの季節に水出しのアイスコーヒーもご用意しています。皆様のご来店を心よりお待ちしております！(まつもと)

【営業時間】9:00～17:00(土日祝休み) 渋谷区東2-11-4(恵比寿駅より徒歩10分)

## ぱれっとの家 いこっと

## ～3ヶ月面談～

今年の3月に入居した、一般企業で働く障がいのある方が3ヶ月を迎えたので、先日も家族も交えて面談を行ないました。この面談は他の入居者にももちろん行なっていて、いこっとに住んでみてどうか、日常生活で困っていることは無いかなどざっくばらんに話を伺う場です。中でご本人の感想として、「最初の1ヶ月は家を離れて暮らしている寂しい気持ちもありましたが、今は自由な暮らしを楽しんでいます」という声を聞くことができ、私達たちも大変うれしく、そして頼もしく感じました。ご家族からも「まだまだ心配なことはありますが、本人の様子を見ていると、このまま暮らして行かれると良いと思っています」という感想を伺うことができました。(みなみやま)

## 各セクションの報告・情報

## THE : 現場

## ぱれっとホーム

りょうり かつやくちゆう  
～料理ボランティアさん活躍中!～

えびす・ぱれっとホームにて約4年ぶりに料理ボランティアさんの活動が再開されました。現在ぱれっと親の会を中心に7名の方にご登録頂いています。また、ボランティアさんとホームスタッフを繋ぐ役割りを谷口さんが担って下さっています。

今回は6月29日に行なわれた料理ボランティア活動当日の様子をお届けいたします。ご協力いただいたボランティアさんは小西さんと安川さんです。この場をお借りして御礼申し上げます。

## ●16:40活動スタート～18:30いただきます

この日のメニューはコロッケ、筑前煮、サラダ、お味噌汁、デザートにメロンという豪華な内容です。コロッケに使用するじゃが芋は安川さんから頂きました。なんと品種は『インカの目覚め』!。そして小西さんからはデザートにメロンを頂きました。メロンの甘い香りがリビングいっぱいに広がります。

エプロンを着用しキッチンへ立ったお二人は、さすがの手際でどんどん調理を進めます。入居者6名と職員1名の計7名分のコロッケの量は圧巻でした。

18時半に夕食開始となると、皆さんまずは筑前煮やサラダから箸をつけています。メインのコロッケは大事に最後に取っておこうという姿が印象的でした。

## ●入居者との関わり

この日、ボランティアさんが来所されるとすぐに「こんにちは!」と入居者さんから元気な声が上がりました。リビングのソファが定位置の方もそこから興味津々でキッチンを見つめています。

ボランティアさんを見てにっこり笑顔を浮かべる方、「今日のおかずは何かなあ」とウキウキしながら入浴に向かう方など、美味しい料理はもちろんのこと、こうしたコミュニケーションを交わせることも入居者さんは楽しみにされています。そして何より嬉しいことは「次は何が食べたいですか?」とボランティアさんが入居者さんへ聞いて下さること!もちろんこの日のメニュー「コロッケ」もリクエストです。ちなみに次回は「あんかけ焼きそば」との希望が出ていました。

## ●質問させて頂きました

## Q1: ボランティアを始めたきっかけは?

A: 谷口さんから誘いを受けて始めました。

## Q2: 活動の中で嬉しい所や難しい所は?

A: 難しい所は量の加減です。普段、6人前を作る機会などなかなか無いので・・・嬉しい所は、皆さんが綺麗に完食してくれる所ですね。

## Q3: ボランティアをやっていて良かったと思う所は?

A: えびすホームの入居者さんは顔見知りの方が多いので、こうした活動を通して皆さんの生活の様子に触れ、また新たな一面を見られることがやっていて良かったことです。



【連携も見事】



【美味しそうな手作りコロッケ】

(やまき)